



平成 21 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社アドバンスト・メディア
代表者名 代表取締役社長 長谷川 一行
(コード番号：3773 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営企画部長 吉 田 一 也
(TEL. 03-5958-1031)
URL <http://www.advanced-media.co.jp>

株式会社ニチイ学館との資本・業務提携に関するお知らせ

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：長谷川一行 以下、アドバンスト・メディア）は、平成 21 年 8 月 7 日開催の取締役会において、医療事務・介護の最大手である株式会社ニチイ学館（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 寺田大輔 以下、ニチイ学館）との資本業務提携について決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 背景と目的

昨今、我が国においては、慢性的な医師不足が問題視される中、医師は、保険書類や入院証明書など医療行為以外の書類作成作業に忙殺されており、医師の過剰労働環境を緩和し、医療行為に集中できる環境を作り上げ、医療の質向上に向けた取り組みが急務であるとされています。また、少子高齢化による患者数減少による収益悪化など、医療機関自体の経営効率化も必須となってきました。このような状況の中、医師の事務作業軽減のため医療クラーク（医師事務作業補助者）の育成、普及促進などの動きも活発化してきております。一方、介護業界においても、多様化する顧客ニーズに対応するため、質の高いヘルパーの育成、介護現場における事務作業の軽減、効率化などが求められております。

このような状況の中、ニチイ学館は、創業以来 40 年間、診療報酬請求業務をはじめとする医療業務サポート関連業務において、確固たる実績を築き上げ、また、近年では、介護のフルラインサービスの提供を中心としたヘルスケア事業及びホームヘルパー養成のための教育事業など、医療、介護、教育の分野において社会のニーズに応えるべく、成長を続けております。

一方、アドバンスト・メディアは、医療機関向けに音声認識技術 **AmiVoice**® 搭載音声入力システムを 2,900 箇所の医療機関に導入している実績があり、電子カルテ入力、診断レポート作成など書類作成業務の効率化に貢献してまいりました。

今回の提携により、ニチイ学館の持つ医療機関に対する幅広いネットワーク、医療業務受託、介護業務で培ってきた業務効率化のノウハウと当社の最先端の音声認識技術 **AmiVoice**® を組み合わせ、医療・介護現場での業務効率化、医療機関の経営効率化を実現し、医療・介護において、より高い品質のサービスを提供できるようにすることにより、社会発展に貢献し両社の一層の企業価値の向上に繋げてまいります。

2. 業務提携の内容

両社は、お互いの顧客基盤・技術・事業ノウハウ・ブランド・インフラ等を活用し、医療・介護・教育の各分野において音声認識技術 **AmiVoice**® を中心とした音声認識ソリューションサービスの協業体制を構築し、医療現場、介護現場の業務効率化・IT化のサポート、新たな教育講座開発等を実現してまいります。

3. 資本提携の内容

ニチイ学館は、本提携をより実効性のあるものとするべく、平成 21 年 8 月 7 日以降、当社の発行済株式総数 5.95% 相当の株式を既存株主より取得する予定です。

4. 取得株式数、取得価額および取得前後の株式の状況

- ① 異動前の所有株式数 0 株 (保有割合 0.00%)
- ② 取得株式数 8,650 株
- ③ 移動後の所有株式数 8,650 株 (保有割合 5.95%)

上記保有割合は、2009 年 7 月 31 日現在のアドバンスト・メディア社の発行済株式総数を基準としております。

5. 業務提携および資本提携の相手先の概要 (平成 21 年 3 月 31 日時点)

(1) 名 称	株式会社ニチイ学館			
(2) 所 在 地	東京都千代田区神田駿河台 2 丁目 9 番地			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 寺田 大輔			
(4) 事 業 内 容	医療関連事業、ヘルスケア事業、教育事業、その他事業			
(5) 資 本 金	11,933 百万円			
(6) 設 立 年 月 日	昭和 48 年 8 月 2 日			
(7) 大株主及び持株比率	(有)明和 17.79% 寺田 明彦 13.11% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) 8.17% 日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口) 5.55% 資産管理サービス信託銀行株式会社 4.05%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。		
	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。		
	取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。		
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態	決算期	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期	平成 21 年 3 月期
連 結 純 資 産		52,247 百万円	50,609 百万円	47,873 百万円
連 結 総 資 産		92,115 百万円	121,284 百万円	120,491 百万円
1 株 当 たり 連 結 純 資 産		1,479.10 円	1,432.54 円	1,372.05 円
連 結 売 上 高		202,549 百万円	199,797 百万円	213,601 百万円

連 結 営 業 利 益	2,635 百万円	2,171 百万円	1,013 百万円
連 結 経 常 利 益	2,709 百万円	2,042 百万円	800 百万円
連 結 当 期 純 利 益	774 百万円	▲834 百万円	▲1,090 百万円
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益	21.99 円	▲23.69 円	▲31.10 円
1 株 当 たり 配 当 金	22	22 円	22 円

6. 今後の見通し

本提携が今期業績に与える影響は軽微であります。中長期的には、相互の事業拡大、企業価値の向上に大きく貢献するものと考えております。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (平成 21 年 5 月 15 日公表) 及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成 22 年 3 月期)	1,420 百万円	▲390 百万円	▲395 百万円	▲398 百万円
前期連結実績 (平成 21 年 3 月期)	1,090 百万円	▲595 百万円	▲557 百万円	▲527 百万円